

ご出演されるサーカスのみなさんにインタビューを行いました。

——— これまで、大和市との縁はありますか？また、大和市のイメージがあれば教えてください。

【叶 高】 茅ヶ崎に住んでいる僕（高）は一週間に二度以上東名高速を利用して大和を通っています。大和に入った時に垂れ幕に「日本一の図書館」。いったいどんな所だろう？と心踊らされています。大きな市ではないのに日本一・・・文化の香りがプンプンです。

——— 現在もさまざまなヴォーカル・グループが活躍していますが、45年間、ファンのみなさんに愛され続ける、サーカスらしさや魅力はどこにあると思われますか？

【叶 高】 自分達を客観的に見ることは難しいですが、一つ思い浮かぶキーワードは「自然体で居たい」。そして良いかどうかは分かりませんが、「競うこと」の優先順位がかなり低いのかもかもしれません。

——— また、長きにわたって、グループ活動を続ける秘訣などありますか？

【叶 高】 続ける「秘訣」というのは無いですね。^_^ …サーカスが45年間続いて来た理由の一つを挙げれば、「ハーモニー」の柔らかな音の重なりに心が溶けてしまうような境地に入り込む瞬間が有って、また次もそれを味わいたい、と追いかけて来たことですかね。

——— コーラス（歌）を始めたきっかけについて教えてください。

【叶 正子】 弟の高が19才、私が21才の頃、高がヤマハのVocal オーディションをラジオで知って、二人で受けてみようということになりました。高は落ちて、私は合格でした。突然週に一回Vocalのレッスンを受けることになりました。まさか自分が歌手になるなんて思ってもいませんでしたがその頃から少しずつ歌の世界に入った気がします。一時学生に戻ったこともありましたがもしもあのオーディションがなかったら私は歌手になっていなかったと思います♪♪

——— コーラスの面白さや楽しさは、どこにありますか？

【叶 ありさ】 コーラスは、それぞれが出している異なる音程・音色を聴き合いながら、心地よく響かせること。それは、私たちの生活にも同じことが言えると思います。音は何一つ、人も誰一つ同じものではなくて、そんなものを受け入れ、認め合い、楽しみ合う。みんな違うから、楽しい！一人で歌うのも楽しいけれど、みんなと一緒に歌って心が一つになった時のあの瞬間のよろこびは、きっとハーモニーだからこそ感じられる楽しさなのだと思います！日々の生活にも、そんな瞬間を感じられたらいいですね。

—— 今回のコンサートはどのようなコンサートにしたいと考えていらっしゃいますか？

【吉村 勇一】親子世代になったサーカスのテーマは「繋ぐ」。世代やジャンルといった「枠」をここでは一度外して…私たちの歌声と佐山こうたさんのピアノとで、それを楽しみながら、繋ぎなおしながら、「懐かしさと新しさ」どちらも感じていただけるようなコンサートにしたいと考えています。

—— 最後に、コンサートを楽しみにされているお客様にコメントをお願いします。

【叶 ありさ】こんな時代だからこそ、みんなと一緒に過ごす時間は格別です。ライブは、わたしたちとスタッフと、そして来てくれるお客さんと一緒に作る、その日限りのもの。ぜひ私たちの生のハーモニーを浴びに来てください！きっとここでしか出会えない何かがあるはずです。私たちも大和でのコンサートを楽しみにしながら、一緒に楽しめる曲たちを用意してお待ちしております！

【吉村 勇一】45周年を超えてなお「新しいサーカス」をご来場の皆様と一緒に楽しみたいです。新曲もありますからサーカスの Youtube チャンネルで予習してきてくださいね♪（笑）。皆様も楽しみにして下さってるかと思いますが、私たちもシリウスで皆様に会えることをとっても楽しみにしています。